

mimopia

中村学園女子中学校・高等学校図書館だより No.208



表紙イラスト 高校2年 下川 舞

目 次

- 読書のすすめ
池田 真奈美 先生p.2
小路 梨紗 先生p.3
- 特集：読書の秋～私のおすすめp.4
- 読書週間のお知らせ p.7

読書のススメ



先生方に、オススメの本や思い出の本、読書に関するいろいろなエピソードなどを語っていただきます！

『本』

数学科 池田真奈美

このミゼリアを書くにあたって、自分が持っている本の中で大きく印象に残っているものについて考えてみました。その中で、いくつかみなさんに読んでほしいものを挙げたいと思います。

私は昔から漫画が好きなのですが、手塚治虫の作品である『BLACK JACK』を一度は読んでもらいたい漫画として紹介したいと思います。非常に有名な漫画なので説明はいらないかもしれませんが、無免許医師ブラックジャックを主人公とした医療漫画です。天才外科医であるブラックジャックは、患者から法外な治療費をとり、多くの命を助けていきますが、必ずしも救えるわけではありません。目の前の命を助けるようと全力を尽くしますが、差別・紛争・生命倫理など、様々な問題が立ちふさがります。人の命

とは何なのか、命に重い軽いがあるのか、動物と人間に命の違いがあるのか、そもそも医者は何のためにあるのか。読み進めていくと、自分自身の倫理観を問われているような気持ちになりました。もちろんそういった話だけではなく、心温まるほっとする話もありますよ。

次に紹介したいのは、『2分間ミステリ』という文庫本です。名探偵ハレシアン博士が様々な事件に遭遇し解決していく、という普通の推理小説です。ただ、一般の推理小説と異なるのは、答えが枠外に書いてあり、私たち読者も推理することが可能だという点です。ほぼすべてのストーリーは2ページに収められており、謎を解くための鍵はこの中にあります。頭の体操として、ぜひ読んでみてください。

最後に雑誌『Newton』を紹介します。最新の科学情報をオールカラーで教えてくれますが、その中

でも、天文学・地学・物理学・数学・工学・医学・薬学など各ジャンルの別冊ムック本がおすすです。その中でも私の一押しは、『数学パズル 論理パズル』です。古典的な名作パズルをはじめ、やさしい問題から難問まで、さまざまな数学パズルを紹介・解説されています。幾何学的な図形パズルや、計算・論理パズル、知って得する確率的なパズル問題まで、盛りだくさんの内容です。さらに、前提も推論も正しいのに、二つの結論が同時に導かれてしまうような、いわゆる「パラドックス」も数多く紹介されています。さまざまパラドックスに頭を悩ますことで、論理的な思考が養われることと思います。

今思い返してみると、私の部屋には幼い頃から必ず大きな本棚がありました。子どものときに買ってもらった伝記だったり、買い集めた漫画だったり、作者買いた小説だったり、タイトルに惹かれ

た新書本だったりと、自分の年によ

って様々なラインアップの本が並んでいました。一人暮らしを始めた大学生のときも、狭い部屋になんとかして本棚を作ろうと必死に部屋のレイアウトを考えたり、そのことを覚えていきます。そして、その後の引っ越しのときに本を入れた段ボールが一番重く、運ぶ作業が本当に苦痛でした。読むことを楽しむのはもちろんですが、何となく本に囲まれていると安心するのか、綺麗にサイズ別に並んだ本を見ているだけで満足することもありました。しかし、たくさん本のの中には買っただけで満足している所謂『積ん読』になっ



っているものもあるのです、それを少しずつでも減らしたいというのが現在の読書に関する目標です。

響りかけの一冊』 英語科 小路梨紗

小学校の頃の思い出の品といえば、代本版(だいほんばん)です。皆さんの中でどのくらいの人がこのことを聞いたことがある、もしくは知っているのでしょうか。代本版とは図書館などで本を借りるときに借りる本の代わりに入れておく物のことです。私

の場合は六年生のお姉さんが作ってくれたカップの絵が描いてある物でした。当時は、本を返す

ときにカウンターで渡しておしまい、ではなく、自分で元のあったところにもどしていました。そのためにも代本版は必要な物だったのです。自分が借りた本を、代本版を目印に戻しに行く、その過程も私にとってはまるで宝探しのように楽しかったのを覚えて

います。

さて、私が本を読むようになってきたきっかけは、私たちの世代ではよくある話ですが、ハリポッターシリーズに出会ったことでした。映画化をしたあとに、本屋でそれまでに出版されているものをすべて購入し、一気に読み進めました。一時期はお風呂の中で読んでいたので、本がふやけて買ってくれた母にひどく怒られたのを覚えています。また、中学校では卓球部に所属していたのですが三年生の大事な大会の前日に本が発売され、徹夜で読み通しました。そして夢と憧れで溢れたハリポッターシリーズをいくつか原書で読みたい!と思うようになり、それが英語に興味を持ち、それが英語に興味を持った出来事のひとつでした。大

学では、様々な作品に英語で触れることができました。ガリバー旅行記やフランケンシュタインなど原書と日本語版を見比べながら、その物語の背景にある歴史的事実や社会状況、そして筆者の意図などを読み解くことはとてもおもしろく感じました。

もちろん、学生時代はハリポッターシリーズだけではなく、たくさん本を読みました。日本の有名な作家の代表作や最近話題の本はとりあえず読んでみたい!という欲のままに読書をしていました。あるジャンルにこだわるといふことなく、いろいろなジャンルに挑戦することで読む力や考える力、そしていろいろなことに対する興味関心を高めることにつながると 생각합니다。

学生時代は、勉強したり、部活したり、遊んだりと時間がいくらかあっても足りない!と、思っている人も多いでしょう。また、スマホなどのIT機器の発達で紙に書かれた文字を読む機会も減ってきたことと思います。本を読みなさい!とまでは言いませんが、紙面上に書かれている活字を読むことの大切さに気付いて欲しいと思います。在学中に皆さんの夢につながる一冊に出会えることを願っています。

特集

読書の秋～私のおすすめ



10月になり、金木犀の香りが辺りに漂いはじめました。秋の夜長、外から聞こえる虫の音をバックミュージックに読書を楽しんでみませんか。ページをめくる音に、心が落ち着いてくるはず……。



★おすすめの
本

二年十一組 古藤 愛実

『浜村渚の計算ノート』／

青柳碧人 著



今回私がおすすめる本は、『浜村渚の計算ノート』シリーズで、五冊しかなく短いので是非手に取ってみて欲しいです。この本は、数学や理科などが「少年犯罪の撲滅」に全く意味をなさないと政府が判断したことで、教科目から数学が排斥されます。しかし数学好きによって数学テロ事件が次々と起こされ、それを解決していくのが中学二年生のヒロイン「浜村渚」。どっという風に解決していくのか、ドキドキ、ワクワク、そして少し「クスッ」と笑える一冊です。数学好きはもちろん、嫌いな人もミステリー小説として是非読んでみてください。

★おすすめの
本

一年十三組 永濱 梨花

『秘密』／東野圭吾 著

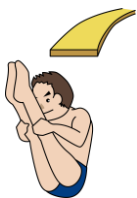


妻、直子と小学五年生の娘、藻奈美を乗せたバスが崖から転落。妻の葬儀の夜、意識を取り戻した娘の体に宿っていたのは、死んだはずの妻だった。その日から杉田家の切なく奇妙な「秘密」の生活が始まった……。映画にもなった小説です。

★おすすめの
本

一年十三組 栗原 早希

『DIVEE!』／森絵都 著



私がこの本の中で好きなシーンは、主人公さやかと一人の男性樹が出会うところです。二人の出会い、さやかがやけ酒で酔っ払って帰ったときに樹が空腹で倒れていたことから始まりました。樹がさやかに「ほくを拾ってくださいませんか。しつけのいい犬です。

ダイビングでオリンピックを目指す少年たちの物語です。主人公、知季の通っているダイビングクラブにある日突然女コーチがやって来て、五人の少年たちが熱い戦いを繰り広げ、オリンピックの座を奪い合います。とても面白い作品です。

★おすすめの
本

一年十二組 吉富 美奈

『穢物図鑑』／有川 浩 著



かみません。」と言ったところが特に好きです。裏表紙には実際にこの本に出てきた植物が載っていて、その植物を使った料理もたくさん出てきます。映画化もされています。



一年十二組 吉田 美紅

★おすすめの本

掟上今日子の備忘録』

／西尾維新 著



掟上今日子さんは探偵ですが寝てしまうと記憶をなくしてしまうその名も「忘却探偵」なので、事件があったら即日解決！

この本はどこから読み始めても面白く、今日子さんと厄介さんの関係が少しずつ変わっていくところもとっても好きです。九巻出ていて今日子さんの秘密も少

しずつ解っていきます。また、厄介さんの他にもいろんな人が登場し、今日子さんの反応もそれぞれ違っているところも魅力です。



二年一組 藤井 悠莉

★おすすめの本

『数学とは何か』

／クラーント、リチャード他 著



あなたは数学とは何か、つまり数学の根本を考えたことはあるだろうか。この本には数学理論や問題がたくさん載っているが単なる問題集ではなく、単純かつ数学の核心を突くような問いを読者に投げかけ、考えさせてくれる。例えば、 $a + b = b + a$ という法則は一見当たり前であるが、これは a と b が整数である場合に成り立つ法則であり、化学式などに

おいてはこの法則を用いることは出来ない。学術書であるため、難しい言葉も登場するが文章自体はとてもシンプルで、高校レベルの数学を学んでいる人なら理解することが出来るだろう。この本を読めば学校の授業では習わない、数学の真相に触れることができ、数学の美しさに気づくことができるかもしれない。



三年A組 稲井 有香里

★おすすめの本

『怪盗探偵山猫』／神永 学 著



悪人から金を盗み出し、悪事を暴く謎の怪盗その名は「山猫」。そんな正義の怪盗を記事にするため、取材を始めた雑誌記者の勝村。ところが、山猫が殺人事件の犯人だという噂がでてくる。絶対

に人を殺めない彼がなぜ…。事件を追ううちに勝村も命を奪われることに？大ピンチを救ってくれたのは、ずっと探していた人物山猫だった？山猫と勝村との関係とは果たして？少し怖めのミステリー小説です。図書室にもあるので是非読んでください。



二年九組 吉田 百合香

★おすすめの本

『平角館の殺人』／綾辻 行人 著



十角形の奇妙な館が建つ孤島・角島を大学ミステリ研の七人が訪れた。館を建てた建築家中村青司は、半年前に炎上した青屋敷で焼死したという…。綾辻行人のデビュー作であり“館シリーズ”と呼ばれる一連の長編は現代本格ミステリを牽引する人気

シリーズとなっている。



一年十二組 奥本 有梨沙

★おすすめの
本

『夢幻花』／東野 圭吾 著



ある日、梨乃の従弟は原因不明の自殺をした。数日後、梨乃の祖父は殺害される。彼女は祖父の遺品から「黄色いアサガオ」の鉢植えが無くなっていることに気付いた。そして、偶然出会った大学生の蒼太と一緒に謎を追うことになるのだが……。二人の死と犯人、「黄色いアサガオ」を繋ぐものは何か、謎を追う果てに二人が見たものとは？この本は最初別々だったものが、最後には一つにまとまり、そこに不思議な面白さがあります。

司書 板垣 里佳

★最近読んだおすすめ本ベスト3

一.『かがみの孤城』／辻村深月 著

輝く鏡をくぐり抜けた世界で出会ったものは……。誰にでも「明」と「暗」があって、それをどう生かすか、がその人の生き方に繋がるのかなと思いました。

二.『BUTTER』／袖月麻子 著

実際に起こった事件がモチーフです。登場人物の名前は同じ「里佳」。自分のことを書かれているような不思議な感覚でした。

三.『裸の王様』／開高健 著

閉ざされた少年の心にそっとわけいり、いきいきとした感情を引出すまでを描いた芥川賞受賞作。話題の本、先生に勧めていただいた本などを挙げてみました。

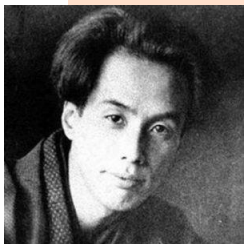
本は自分だけの映像を目の前に広げてくれます。

時代を遡り、ほんとうは体験できないことを経験させてくれます。



Topic

芥川賞と直木賞どう違うの？



芥川龍之介
1892～1927
作品の多くは短編である。「芋粥」「藪の中」「地獄変」など、『今昔物語集』『宇治拾遺物語』といった古典から題材をとったものが多い。「蜘蛛の糸」「杜子春」といった児童向けの作品も書いている。

芥川賞	vs	直木賞
「純文学」と呼ばれる芸術性の高い雑誌掲載作品から	選考対象	ミステリーや時代小説などのエンターテインメント作品の単行本から
「三島由紀夫賞」 「野間文芸新人賞」	傾向が似ている賞	「山本週五郎賞」 「吉川英治文学新人賞」
又吉直樹『火花』 沼田真佑『影裏』	受賞者・作品	恩田陸『蜜蜂と遠雷』 佐藤正午『月の満ち欠け』
小川洋子・奥泉光・川上弘美・島田雅彦・高樹のぶ子・堀江敏幸・宮本輝・村上龍・山田詠美・吉田修一の10名	選考委員	浅田次郎、伊集院静、北方謙三、桐野夏生、高村薫、林真理子、東野圭吾、宮城谷昌光、宮部みゆきの9名



直木三十五
1891～1934
小説家であり、脚本家、映画監督でもあった。代表作は『南国太平記』亡くなった翌年の昭和10年、文藝春秋社長・菊池寛により芥川賞とともに直木賞が設置された。

図書室に「芥川賞・直木賞コーナー」があります！





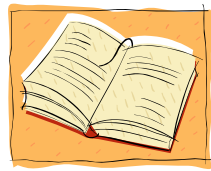
秋の読書週間について

【10月23日(月)～11月9日(木)】

貸出冊数が五冊に♪

十月二十三日(月)から、秋の読書週間がスタートします。期間は約三週間で、十一月九日(木)までです。この間、普段はひとりの三冊までの貸出冊数が、ひとり五冊に増えます。この機会に本をたくさん借りてきてくださいね。

一千二百冊！



今年の四月からこれまでに図書館に新しく入った本は、約一千二百冊です！みなさんが図書館で目にする「新着図書コーナー」の本は、新着図書のほんの一部なのです。見逃した本がきつとあるはず。「新着コーナー」以外の棚にも、あなたにとつての掘り出し物があるでしょう。ぜひじっくり、図書館の棚めぐりをしてください。運命の一冊との出会いが待っているかも!?

読書週間特別企画

プレゼントがあります♪

読書週間で、図書室で本を五冊借りた人に、ブックカバーのプレゼントがあります。デザインの違うものの中から選べますよ。先着順ですので、早めにチェックしに来てくださいね。

図書館で最近人気がある本は……



最近図書館で貸出が多い本をご紹介します。

『ツナグ』

辻村深月 著

著者の辻村さんは『かがみの孤城』など、生徒に人気のある作家さんのひとりです。

一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれるという「使者(ツナグ)」…映画の配役は松坂桃李。突然死したアイドルが心の支

えだった〇し、親友に抱いた嫉妬心に苛まれる女子高生…ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。それぞれの想いを抱えた一夜の再会は、何をもたらすのか。今を前向きに生きようと思える作品。月夜が美しいこの時期におすすめです。



そのほかに、

『生まれてるだけで100点満点』
日野原重明 著



『東大生が見つけた世界一わかりやすい英単語の覚え方』
浅羽克彦 著



この本は中学生、高校生どちらの貸出も多いですよ。

☆ 編集後記 ☆

ミモピア第208号をお届けしました。
「読書の秋」です。皆さんには読書の習慣がありますか？
もしかしたら、本は苦手…という人もいるのではないのでしょうか。



梨屋アリエさん（作家）は子どもの頃、本が嫌いで読書の習慣がなかったそうです。それでもみんなの話に入りたくて、数ページ読んで挫折、読みたい気持ちはあるのに、どうしても読めなかったそうです。

そんな梨屋さんが本を好きになった要因のひとつは、中学のとき通学路に書店ができたこと。自分のお小遣いで購入した、薄い本や内容が軽い本でも、1冊を読破することで自信につながったそうです。つまり「読むことに慣れる」練習と「読める本を読む」経験をしたことでした。

もうひとつの要因は、学校に読書の時間があって、読まねばならない時間と空間を強制的にでも確保できたこと、だったそうです。（『YA図書総目録より』）

本校の図書室にはいろいろなジャンルの本や雑誌、ゆったりとした時間を過ごせる空間があります。

また、読書週間も始まりますから、ぜひ図書室に来てみてください。
そのうちに、自分の人生に必要な本が見つかるかも！しれませんね。
皆様のご利用をお待ちしています。

最後に、お忙しい中原稿にご協力いただいた先生方、ありがとうございました。